

総合仏教研究所公開講座

講師 **Stephen Covell** 先生

(Mary Meader Professor of Comparative Religion
Department World Religions and Cultures
Western Michigan University)

[日時] 2025年1月30日(木) 15:10~16:50 (4時限目)

[場所] 総合仏教研究所 研究室1(3号館4階)

【講義概要】 コベル教授の講演では、近著の内容と調査結果が紹介されます。『日本における寺院仏教の教えと教え方』は、仏教の教えが近現代にどのように伝わってきたか、また、どのように教えられているかを考察しました。特に、寺院仏教組織による社会向けの公の教えに焦点を当てました。日本の仏教系幼稚園の歴史、仏教系中学校における道德教育、仏教系大学の進展とそこで教えられている内容について検証しました。これらの教育機関の受講者は、葬儀を除けば、他の布教対象をはるかに上回る規模であるにもかかわらず、仏教教育機関の対外的な教育・布教活動は、西洋の日本宗教研究者の間ではほとんど注目されていませんでした。仏教教育で何が教えられているのか、またそれがどのようにして教えられるようになったのかを明らかにした後、著者は、仏教教育の社会向けの教えが独特なものなのか、それともエリート仏教修行者の教えと類似しているのかを確かめるために、日本の寺院仏教で最も厳しい修行のひとつを経験した僧侶たちの教えに触れました。ここで研究対象となる教えと教育現場は、僧侶や古典的な教義研究者を対象とするだけでなく、受講者をも対象としました。本書では、寺院仏教組織において現在日本で仏教として教えられている内容について、現場、ネット、一般向け著作物での教えを考察しました。調査結果の一つとして、これらの教えは、日本の新宗教運動の学者たちが概説した新宗教や仏教在家運動の教え、または世界観、および教育を担当する政府機関の教育目標と類似していることが判明しています。

本研究所では、Stephen Covell先生(Western Michigan University)を講師にお迎えし、ご講演いただきます。

予約不要および無料でどなたでも聴講できますので、ふるってご参加ください。

【問い合わせ先】:大正大学総合仏教研究所 03-3918-7311(代表)

http://www.tais.ac.jp/library_lab/sobutsu/

※日程等に変更が生じた場合は、随時ご案内いたします。

現代日本における寺院仏教の教え